

令和8年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】 科目名… 国語

一 問一 ①遭遇 ②遂 ③狩猟 ④露呈 ⑤示唆

問二 ア、ウ、オ

問三 (出題の意図) 文章中の表現について、前後の文脈から適切に理解する力を問う。

問四 (出題の意図) 文章中の一般化された表現について、論旨を辿りながら適切に理解する力を問う。

問五 (出題の意図) 文章中の表現について、論理的に理解し、分かりやすく説明する力を問う。

問六 (出題の意図) 本文全体の読解をふまえて、指定の箇所について適切に説明する力を問う。

問七 エ

二 問一 ①ぬぐ(う) ②廃棄 ③漂(う) ④すがすが(しい) ⑤澄(ませて)

問二 (出題の意図) 登場人物の考えていることについて、展開や文脈をふまえて説明する力を問う。

問三 (出題の意図) 登場人物の価値観について、本文をふまえて簡潔にまとめる力を問う。

問四 ① イ ② エ

問五 (出題の意図) 登場人物の心情の変化について、本文をふまえて具体的に説明する力を問う。

問六 ウ、オ

問七 ア

問八 ウ

問九 エ

三 問一 思ひ出(名詞)に(格助詞)も(係助詞)せ(動詞・サ行変格活用・未然形)まほしけれ(願望の助動詞・已然形)と(格助詞)

いふ(動詞・ハ行四段活用・終止形)

問二 「砂金」に対して、無関心でいる(声を掛けたり、手紙を書いたりしない)のがよい。

問三 aイ「やみ」 bキ「ぬ」 cク「ぬ」 dオ「召す」

問四 A 佐実は武芸に携わることのない素人であり、敵として扱うほどの人ではないので方法がない(どうしようもない)こと。

B 放っておくのは落ち着かない(このままでは気持ちが収まらない)こと。

問五 ④ 男ども ⑥ 佐実 ⑧ 田舎武者

問六 I れに障らじ

II そういうことをもう言う気はないか。(二度とあんなことを言うつもりはないか)

問七 伸正の形ばかり脅してやろうという思いに反して、田舎武者がもとどりを切るという想定以上の処罰を加えたこと。

問八 I 「そのまま終わろうか(いや終るはずがない)」

II 「佐実がもとどりを切られたこと・田舎武者が佐実に行き過ぎた罰を与えたこと」が「人に知られない・妥当性が問われない・何もなかったこととして放っておかれない」こと

問九 エ

四 問一 ①と ⑦しかるに ⑧つひに ⑨いひて

問二 あいがんしてやまず

問三 ウ

問四 エ

問五 屈辱としてこれほど大きなものはない。

問六 イ

問七 姜恪は辺境で異民族を討伐するという手柄を立てただけであり、閻立本は絵の名手というだけであって、二人とも宰相としての能力は持っていない、という意味。(七十三字)